【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第２区分
【発行日】平成20年5月1日(2008.5.1)

【公開番号】特開2002-287708(P2002-287708A)
【公開日】平成14年10月4日(2002.10.4)
【出願番号】特願2001-91479(P2001-91479)
【国際特許分類】
Ｇ０９Ｇ　3/36　(2006.01)
Ｇ０２Ｆ　1/133　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/20　(2006.01)
Ｇ０９Ｇ　3/34　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０９Ｇ　3/36
Ｇ０２Ｆ　1/133　５３５
Ｇ０２Ｆ　1/133　５５０
Ｇ０９Ｇ　3/20　６２１Ｂ
Ｇ０９Ｇ　3/20　６４１Ｅ
Ｇ０９Ｇ　3/34　Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成20年3月13日(2008.3.13)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】発明の名称
【補正方法】変更
【補正の内容】
【発明の名称】液晶表示装置の駆動方法
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
１つのフレームは第１のサブフレームと第２のサブフレームと第３のサブフレームとを有し、前記第１のサブフレーム、前記第２のサブフレーム及び前記第３のサブフレームは光源が消灯している期間に次いで、互いに異なる第１の発光色、第２の発光色、第３の発光色のそれぞれに対応した光源が点灯している期間があり、
前記第１のサブフレームにおいて１行目の走査線の選択が始まってからｎ行目の走査線の選択が終わるまでの間に対向電極の電位が反転し、前記第１のサブフレームにおいて少なくとも前記ｎ行目の走査線の選択が終わってから前記光源の点灯が始まることを特徴とする液晶表示装置の駆動方法。
【請求項２】
請求項１において、前記対向電極の電位を基準として画素電極の電位が調節され、前記対向電極の電位が反転する前後で液晶層に印加される電圧の極性が変わることを特徴とする液晶表示装置の駆動方法。
【請求項３】
１つのフレームは第１のサブフレームと、第２のサブフレームと、第３のサブフレームを有し、前記第１のサブフレーム、前記第２のサブフレーム及び前記第３のサブフレーム

は第１の期間と第２の期間とを有し、前記第１の期間は光源が消灯しており、第２の期間は互いに異なる第１の発光色、第２の発光色、第３の発光色のそれぞれに対応した光源が点灯しており、

前記第１のサブフレーム、前記第２のサブフレーム及び前記第３のサブフレームにおいて前記第１の期間に対向電極の電位が反転し、前記対向電極の電位を基準として画素電極の電位が調節され、液晶層に印加する電圧の極性は前記第１のサブフレームと前記第３のサブフレームとで同一であり、前記第１のサブフレームと前記第２のサブフレームとで異なることを特徴とする液晶表示装置の駆動方法。

【請求項４】

請求項１乃至３のいずれか一において、

前記第１の発光色、前記第２の発光色、及び前記第３の発光色は、それぞれ青色、赤色、及び緑色であることを特徴とする液晶表示装置の駆動方法。